

新春座談会2012

自動車産業と金型づくりの 方向性を考える



トヨタ自動車(株) 常務役員
型技術協会 会長

マツダ(株) 取締役専務執行役員
型技術協会 副会長

ホンダエンジニアリング(株) 執行役員
車体領域執行責任者/型技術協会 副会長

川田康夫氏 × 小飼雅道氏 × 田岡秀樹氏

大阪産業大学 教授/前・型技術協会 会長

【司会】 前川佳徳氏

前川 2011年は3.11の東日本大震災や超円高、タイの大洪水など想定外の出来事が続き、製造業にとってはたいへんな年でした。アジア新興国へのモノづくりの急速なシフトの中、日本の製造業はどのように生き残っていくべきかの方針転換を迫られる年でもありました。

さて、2012年を迎えるにあたり、国内モノづくり産業の新たな戦略について考えていきたいと思います。「型技術」の読者は、モノづくり関連企業の経営者・技術者ですから、自動車産業の動向を知ることは欠か

せません。

そこで、本日は、トヨタ、ホンダ、マツダの生産部門を統括しておられ、また「型技術協会」の会長・副会長である皆さまに、2012年の自動車産業の動向を語っていただきたいと思います。さらに、自動車メーカーから見た、型屋さんの生き残り策についてもご意見をいただければと考えております。

まずは、1,000年に一度という未曾有の大災害、3.11の大震災・津波、それに付随した福島原発事故による大きなダメージへの対処や、その後の生産戦略の見